

プッチーニが 「トゥーランドット」に 仕掛けた永遠の謎

(池田 卓夫=音楽ジャーナリスト)

1926年4月25日、イタリアのミラノ・スカラ座でジャコモ・プッチーニ(1858~1924)の遺作オペラ「トゥーランドット」が世界初演された晩、指揮者アルトゥーロ・トスカニーニは第3幕のリュウ自死の場面で演奏を止め、「作曲者のオリジナルはここまで」と宣言した。補作を担当したフランコ・アルファーノがトスカニーニ意中の人ではなかった結果とされるが、この実力行使?は後世に大きな混乱を残した。喉頭癌の治療でプッチーニの作曲意欲が低下し、筆が進まなかったことをスコア未完成の理由に挙げる人は多いが、たった23ページ分のスケッチを仕上げる時間は「十分に残されていたはずだ」とする説もある。

オペラのヒロインとして、プッチーニが愛してきたのはミミ、チョウチョウサンら薄幸の女性たちであり、「トゥーランドット」においては題名役の姫でなく、リユウ。「それが自刃した後、姫と王子がめでたく結ばれるハッピーエンドに、気乗りがしなかったから体調悪化の最中、あえて筆を進めなかった」との指摘が近年、説得力を増しつつあるのだ。終始ドラマティックな声を求められ、疲労困憊のプリマドンナより、声楽的な負担が軽く出番も限られる「裏ヒロイン」の方に人気集中する点でも、「トゥーランドット」は異色のオペラかもしれない。イタリアのソプラノ好みでないのか、世界初演者からしてポーランド系アメリカ人ローザ・ライサ、歴代の「姫」歌いも英国のエヴァ・ターナー、スウェーデンのビルギット・ニルソンなどなど、外国人のシェアが飛び抜けて高い。

イタリアの劇作家カルロ・ゴツツィがフランスの寓話集「千一夜物語」の「カラフ王子と中国の王女の物語」に題材を得て書き下ろした戯曲「トゥーランドット」のマックス・ラインハルト演出による舞台を、ドイツ最頂のプッチーニはベルリンで観たという。これに想を得たオペラでは古代から「東へ、東へ」と歩を進めたヨーロッパ人のアジア趣味と、イタリア独自のコンメディア・デッラルテ(仮面即興喜劇)やベルカント唱法の伝統が見事に融合した。私たち日本人は、この傑作を「東から」の視点で解釈、上演、鑑賞することになる。



指揮：岩村 力



演出：佐藤 美晴

CAST



トゥーランドット
桑田 葉子



トゥーランドット
福田 祥子



リユウ
盛田 麻央



リユウ
陰山 雅代



カラフ
城 宏憲



カラフ
内山 信吾



ティムール
矢田部 一弘



ティムール
佐藤 泰弘



ピン
古澤 利人



ピン
飯田 裕之



パン
織部 玲児



パン
高嶋 康晴



ボン
佐々木 洋平



ボン
根岸 一郎



アルトゥム皇帝
北柴 潤



役人
御松 鋼



神奈川県民ホール

〒231-0023 横浜市中区山下町3-1
☎045-662-5901(代表) FAX045-641-3184
<http://www.kanagawa-kenminhall.com>

- みなとみらい線=渋谷駅から東横線直通で35分! 横浜駅から6分!
日本大通り駅から徒歩約6分 元町中華街駅から徒歩約12分
- JR=関内駅または石川町から徒歩15分
- 市営地下鉄=関内駅から徒歩15分
- 市営バス=芸術劇場-NHK前下車徒歩2分
横浜駅東口/バスターミナル 2番のりば乗車(所要時間約25分)
桜木町/バスターミナル 2番のりば乗車(所要時間約10分)
- ※上記のりばから発車するバスはすべて「芸術劇場-NHK前」を通ります。但し、148系統急行線を除く。
- 県民ホール有料駐車場(84台)もご利用下さい。
指定管理者:(公財)神奈川芸術文化財団